



令和5年(2023年)12月1日(金)



おみせやさんごっこ



幼稚部では12月8日(金)のおみせやさんごっこに向けて毎日いろいろな活動に取り組んでいます。焼き芋づくりに加え、エプロンや焼き芋カー作りなどもあります。焼き芋カーは実物を見たことがないと思うので、自分たちのオリジナルで自由に飾っています。果たしてどのような車が出来上がったでしょうか。エプロンもそれぞれの工夫でかわいくできました。たくさんの人に喜んでもらい、自分たちも楽しめるよう、今から張り切っています。

介護等体験



11月20日、21日の2日間、鎌倉女子大学の学生が来校し、本校の活動を体験しました。この体験活動は、教員免許状の取得を目指す学生たちの必須単位として義務付けられており、毎年多くの学生が本校にやってきます。私たちも、ろう教育の実態や子どもたちの様子を伝える良い機会ととらえています。今回も、事前に手話を勉強してくる学生がいるなど、特別支援教育に対する熱心さや真剣さが伝わってくる学生たちでした。ほとんどの学生はこれまで聴覚障害児と出会うことがなかったと言っていました。子どもたちと積極的に交流をしてくれました。一方、幼稚部の子どもたちはというと、お姉さん先生たちがたくさん来てくれておおはしゃぎです。おもしろいことをして気を引こうとしたり、手を引っ張って遊びに誘ったり。人に見られて緊張するという気持ちはあまりなさそうです。さらに「かわいいー♡」ということばを連発されて、ますます上機嫌になってゆく子どもたちでした。学生たちが皆ろう学校の教員をめざしているわけではありませんが、彼女らが聴覚障害児や聴覚障害について知り、ふれあい、理解を深めることで、その学びが社会に還元されていくことを期待しています。



松本先生来校



11月24日(金)、幼稚部の活動を参観しに公益財団法人聴覚障害者教育福祉協会専務理事の松本先生が来校されました。本年度3度目の来校となります。松本先生は、これまで筑波大学教授や筑波大学附属久里浜特別支援学校副校長を歴任されるなどしていましたが、現在は障害児教育、特に聴覚障害児教育について全国の聾学校を飛び回って講演をしたり、教員たちにアドバイスをしたりする仕事をしていらっしゃいます。先生はとても気さくな方で、子

どもたちとすぐに仲良しになってしまいます。この日はいろいろなお店屋さんの名前を当てるシルエットクイズの活動をしましたが、松本先生もニコニコしながら一緒に参加してくれました。また、放課後は子どもたちの成長についてたくさんのアドバイスをいただきました。何より、子どもたちが半年前に比べて確実に成長していてびっくりしたとのお話されていたので、私たちもとても嬉しくなりました。



やきいもやさんってこんな感じ？

手探りで進めているやきいもやさんの準備です。ぼろぼろだった焼き芋カーを子どもたちが自由に発想してきれいにリメイクします。エプロンはかわいい感じに仕上げました。

